

ほんべつ 議会だより

No.87

平成30年11月15日発行



投げた ● 打った ✓ 走った ✎

10月8日 勝毎本別支局杯 選抜少年野球本別大会

発行／北海道本別町議会 編集／広報広聴常任委員会 北海道中川郡本別町北2丁目4番地1 TEL 0156-22-8123
FAX 0156-22-2147

新議会スタート

町民に信頼される議会づくりを目指します

副議長に 高橋 利勝 議員
藤田 直美 議員

任期満了に伴い7月21日に行なわれた町議会議員選挙では、定員12人に対し15人が立候補し、現職8人、新人4人が当選しました。
改選後初となる臨時会（初議会）を8月10日に開き、議長、副議長を選出しました。また、常任委員や議会運営委員などを選出し、議会構成を決定しました。

発言・提言・議論・行動する議会を目指して

議長 高橋 利勝

私たち12名は町民のみんなさんの投票により議席を得ることができました。が、投票結果を振り返つてみると、女性議員、新人議員で有効投票数の過半数に近い得票数を占めました。

従いまして私はこのことを受け止めて、今後の議会運営に生かしていくたいと思います。

本別町議会は、本別町議会基本条例を制定し、平成28年6月15日に施行いたしました。その前文

の中に議会は積極的な情報の公開、政策活動への多様な町民参加の推進、議員間の自由な討議の展開、行政機関との持続的な緊張の保持、議員の自己研さんと資質の向上などをうたわれています。

私はこの議会基本条例の精神の元に、「発言する、議論する、提言する、行動する議会」を目指したいと思っています。

議会運営委員会

| | |
|------|-------|
| 委員長 | 方川 一郎 |
| 副委員長 | 山西二三夫 |
| 委員 | 阿保 静夫 |
| 委員 | 大住 啓一 |
| 委員 | 篠原 義彦 |

産業厚生常任委員会

| | |
|------|-------|
| 委員長 | 大住 啓一 |
| 副委員長 | 阿保 静夫 |
| 委員 | 藤田 直美 |
| 委員 | 方川 一郎 |
| 委員 | 柏崎 秀行 |

広報広聴常任委員会

| | |
|-------|-------|
| 委員長 | 山西二三夫 |
| 副委員長 | 水谷 令子 |
| 委員 | 山西二三夫 |
| 委員 | 石山 憲司 |
| 委員 | 水谷 令子 |
| 委員 | 久男 |
| 柏崎 秀行 | 山西二三夫 |
| 梅村 智秀 | 山西二三夫 |

委員会の構成

一部事務組合議会議員

池北三町行政事務組合議会

山西二三夫

石山 憲司

水谷 令子

山西二三夫

十勝圏複合事務組合議会議員

高橋 利勝

山西二三夫

山西二三夫

とかち広域消防事務組合議会議員

高橋 利勝

山西二三夫

監査委員

方川 一郎





方川 一郎
当6 69歳



阿保 静夫
当8 60歳



副議長 藤田 直美
当2 52歳



議長 高橋 利勝
当8 69歳



篠原 義彦
当2 70歳



大住 啓一
当3 65歳



山西 二三夫
当5 72歳



黒山 久男
当5 76歳



水谷 令子
当1 61歳



柏崎 秀行
当1 46歳



梅村 智秀
当1 42歳



石山 売司
当1 69歳

※年齢は8月10日現在

提案説明 今の技術では形のない物から部品をつくることが可能である。部品

【原案】
公園用草刈機購入費
519万6千円
←
【修正案】
公園用草刈機修繕料
64万8千円

議員提出修正案

答

現在の車両は購入から15年が経過し、安全性や機械のバランスを考えると、新車の購入が適切と判断しました。

部品の供給がされないことから修理不能と判断したとのことだが、新車を購入するのではなく、破損した部品を他社の汎用品で取り替える考えは。

草刈機更新 一般会計補正

開催日 8月10日

第3回臨時会

の供給がされない、安全性が担保されないという理由で、車両の入れ替えが必要というのは理由に当たらぬ。車両は修理可能であるので修正案を提出します。

「一般会計(第8回)」に対する反対討論..梅村議員

草刈機は10分の1程度の64万8千円で修理可能である。よって原案には反対します。

賛成討論..阿保議員

悪いところを全部直しても、あらゆる所に摩耗など不都合が生じる可能性がある。町の責任としては、より安全なものを使う必要があるので、原案には賛成します。

採決の結果

修正案は賛成者2人、反対者9人で否決されました。また、原案は賛成者10人、反対者1人で可決されました。

第4回臨時会

開催日 8月17日

方川一郎議員を議会選出の監査委員に選任することに同意しました。

第3回定例会



61人の町民の皆さまが傍聴に（9月19日 一般質問）

問 新システム（ふるさと納税サイト）の導入で収入が増えた要因は。

答 寄付金収入

問 車道の通行止めは4日間程度を予定しております、事前に周辺の自治会や関係機関に周知します。（最終調査の結果、通行止めはなくなりました）

答 中央橋橋りょう補修工事（新町～弥生町間）

問 工期が3月20日までだが、その間通行止めはあるのか。

答 一般会計補正

平成30年第3回定例会は9月11日に開会し、一般会計他6会計の補正予算、教育委員会委員の任命同意などを審議しました。

審議された内容は次のとおりです。

個性あるふるさとづくり基金増額などの補正予算等を可決

第3回定例会



補修している中央橋

平成30年度各会計補正予算

※第3回臨時会含む（8月10日開催）

| 会計 | (補正額) 補正後の額 | 主な内容 |
|--------|-----------------------------|---------------------------------------|
| 一般会計 | (1,745万2千円) | 大雨による公共施設の修繕及び草刈機の更新による増（臨時会） |
| | (9,261万5千円) 68億7,580万8千円 | ふるさと納税専用サイト導入による基金の増（定例会） |
| 特別会計 | (5,972万3千円) 12億5,070万3千円 | 基金積立による増（保険給付費支払準備金）（定例会） |
| | (1万4千円) 1億2,747万7千円 | 決算確定による繰越金精算（定例会） |
| | (3,597万5千円) 10億2,291万2千円 | 介護支援専門員実務研修受講にかかる交付金の増（定例会） |
| | (106万5千円) 2億9,658万円 | 施設等備品購入による増（寄付金）防火設備定期検査による増（臨時会・定例会） |
| | (99万1千円) 1億1,262万8千円 | 配水管等施設修繕料の増（臨時会） |
| 公共下水道 | (557万3千円) 4億9,392万2千円 | 個別排水処理施設新設基数の増（定例会） |
| 病院事業会計 | (427万3千円) 14億2,945万8千円 | 医療器械の更新による増（定例会） |

問 刑事裁判で立証された部分で、本人が弁済を認めた分として、遅延利息含めて予算化しています。

問 今までの裁判に関する元職員の賠償金については、今回精算されるという解釈で良いか。

町税損害賠償金

教育委員会委員に

ふせこういち
布施耕一氏
(拓農)再任

10月20日に任期満了となる教育委員会委員の任命に「同意」しました。

私たちのお金はどのように使われた?

平成29年度 決算審査特別委員会 質疑応答

(9月28日・10月1日・10月2日開催)

審議時間
11時間4分

148
の質疑

第3回定例会において付託された平成29年度各会計決算審査特別委員会では、9会計の決算について町から提案説明を受け、各委員が質疑を行ないました。主な審議内容について抜粋してお知らせします。

| | | |
|---------|----------|---------------------------|
| 一般会計決算額 | 歳出(支出)総額 | 73億9千2百万円(前年度比2億9千5百万円増) |
| 9会計総決算額 | 歳出(支出)総額 | 107億6千2百万円(前年度比2億6千6百万円増) |

答
は。
る際にはマイレージ
は使用しないこととします。

問
は。
航空券の引き換え
までポイントが貯ま
らないため、ラウンジ利用
券や座席のアップグレード
に使用しています。

答
ます。
飛行機搭乗時に貯
まるマイレージポイ
ントの扱いは。

答
4回です。
東京都が12回、札
幌市が6回、その他

問
訳は。
町長の出張先の内

一般会計

答
は。
公費の中で購入す
る際にも提供できるよう考
えています。数量については
現在見直しをかけています。

問
は。
要請があつた場合、
避難所にいる人以外
にも提供することができる
のか。現在の数量は適正で
あると考えられるのか。

災害時の非常食対応

答
度しつかりと考える機会と
なりました。
職員約200人が
参加し、法令順守や
公務員としての規範につい
て学びました。講師の方か
らの率直な意見やグループ
討議などを通じて、いま一
歩成長した感覚を得られ
ました。

問
みを行なつているの
か。
研修の内容と評価は。

コンプライアンス研修



笑顔で地域に協力隊

答
か。
2人の協力隊が活
動をしており、移住
相談対応や仕事や住まいの
情報提供を行なう移住サポート
事業、障がい者の就労の
場の開拓など農福商連携事
業にそれぞれ取り組んでい
ます。

問
どのような取り組
みを行なつているの
か。

地域おこし協力隊

決算審査特別委員会

本別公園内の整備



倒木処理が急がれるカムイ山

2年前の台風による倒木で、カムイ山へ登る本別公園側の遊歩道が塞がれている。修繕の状況は。

答

専門業者に修繕依頼をしていますが、様々な要因があり進んでいません。早い対処をしてまいりたいと思います。

答

100歳（現金7万円、商品券3万円）

問 敬老祝い金

該当者数および金額の内訳は。また、支給対象となる要件は。

答

空き家件数348件のうち、47件がDランク（倒壊・崩壊の危険性が高い）と判定されました。

問 空き家対策

追加調査の結果は。

答

町が9割、自治会が1割負担となっています。

問 街路灯維持費

街路灯電気代維持費の自治会負担割合は。

街路灯維持費

が6人、85歳（現金2万円、商品券1万円）が78人です。基準日に1年以上住所を有する方が支給対象となります。

答

循環バスの利用者数は。

1年間で1万3,048人、1日の平均利用者数は53.7人です。

国保病院循環バス利用

公営住宅周辺の共有スペース「緑地帯」の管理は誰が行なっているのか。

公営住宅

現在は入居者の方に行なっていただきしておりますが、高齢化が進んでいる所もあり、入居者の状況等も見ながら今後の対応について考えていきたいたいと思います。

問

補助金2,430万円の内容は。

本別高校の教育を考える会



共有スペースの草刈は？（栄町団地）

通学支援費（片道6km以上の遠距離学補助、陸別直行運行バスとして約1,354万円、高校案内パンフレットなど的一般事業費として約336万円、制服の購入などの入学支援金として約187万円等となっています）。

答

各種スポーツ大会要綱に基づき、全道または全国大会へ出場する個人、団体へ補助しています。

問

大会補助を受けるための要件は。

スポーツ大会補助金



響け！未来へ支援の輪

不納欠損処分

75件の内訳は。

町民税の個人が32件、29人。町民税の法人が3件、3法人。固定資産税が22件、22人。軽自動車税が18件、18人となっています。

答

（総体の受診者数は698件）

はがきによる通知で受診の推奨を促す事業となつており、集団検診の申し込みが70件、個別受診の予約が24件増えました。

答

はがきによる通知で受診の推奨を促す事業となつており、集団検

賛成討論 梅村議員

反対討論は制度に対する疑義であり、本会計に直接的に関与するものではないので、決算については賛成します。

後期高齢者医療特別会計

件

不納欠損処分に至るまでの経過は。

答

納税指導や滞納処分の臨戸徴収、催告書発行や、預貯金等の財産調査、差し押さえ等を行なっています。滞納整理機構とも連携し不納欠損処分に至らないよう取り組んでいます。

「決算認定に対する」
反対討論 阿保議員

保険料の軽減区分が変更になつたことによるものです。

問

1人当たりの負担額が上がつた要因は。

高齢者医療保険料

件

賛成者8人、反対者1人で原案可決されました。

採決の結果

緊急で希望している方が7人、早めの入所を希望している方が31人、すぐに希望しない方が34人です（平成30年2月時点）。施設入所の順番が来るまでは、町内事業所とも連携しながら対応しています。

介護サービス事業特別会計

入居待機者数は。

院改革プランに基づいて、30年度、31年度の経営改善を目指します。

特別養護老人ホーム入居者数

問

要支援および要介護認定を受けた人で、ひとり暮らしをしている方は何人いるのか。

介護保険事業特別会計

件

賛成者8人、反対者1人で原案可決されました。

病院の経営状況

国民健康保険病院事業会計

国民健康保険病院事業会計

国民健康保険病院事業会計

ひとり暮らしの方は256人です。

答

当年度の純損失が約1億3,200万円、累積赤字は19億2千万を超えてい。今後の見通しは。

「決算認定に対する」
反対討論 阿保議員

①年齢で区切り負担を押しつける制度、②制度導入以来4回の保険料増、③特例軽減の一部打ち切りにより負担が増えています。現制度の大幅な改善、本制度に代わる医療保険制度の設立を願い、決算に反対します。

特定健康診査

委託に伴う成果は。

問

国民健康保険特別会計

答

はがきによる通知で受診の推奨を促す事業となつており、集団検診の申し込みが70件、個別受診の予約が24件増えました。

答

24時間体制の救急告示病院として、収益を見込めない部分も担つておらず、経営は非常に厳しい状況です。本別町公立病

審議の結果
全ての会計で決算は
認定されました。



経営改善を目指す国保病院

一般質問

7人の議員から14問



暮らし

公衆浴場の営業終了後の対応と今後について

答 現状の利用の対応をしつかりと進めます



大住啓一議員

③大災害の時、町が運営する浴場があると町民の皆さんのが糧となると思いますが、考え方は。

大住議員 本年4月に町内唯一の銭湯が営業を終了しました。日々の生活に欠かせない施設だつたと理解していますが、これまでの対応と今後の考え方を伺います。

①営業終了後は老人福祉センターを利用している様ですが、利用できる時間帯、利用者数などの状況を伺います。

②今後の対応については、施設等を借りて町が運営することも一考かと思いますが、考え方を伺います。



老人福祉センター内の入浴施設

③大災害時の入浴については、被害の状況を判断し関係機関と連携してまいります。

高橋町長 ①現在は大雨、土砂災害、地震災害を想定した防災マニュアルで対応。大停電発生時や冬季間の対応と必

②7月からは、年末始を除く月曜日、水曜日、金曜日の週3回、女性が12時45分～14時45分、男性が14時45分～16時となつており、延べ453人の利用がありました。

③現在の施設は、大幅な改修工事が必要となり、現在の所有者の方は、新しい用途に活用するとのことでいます。

高橋町長 ①7月からは、年末始を除く月曜日、水曜日、金曜日の週3回、女性が12時45分～14時45分、男性が14時45分～16時となつており、延べ453人の利用がありました。

②現在の施設は、大幅な改

修工事が必要となり、現在の所有者の方は、新しい用途に活用するとのことでいます。

藤田議員 大規模停電を教訓に、本別町の安全対策の強化と防災対策の見直しが求められています。住民への安全対策の呼びかけを強化するべき。

①職員の優先業務の確認や電源確保のための取り組みと備蓄計画の見直しは。

②自主防災組織の強化と現状の取り組みについて。

③行政防災無線の全戸設置を望む声が多いが、急ぐべきでは。

④SNSを活用し情報を提供する考えは。

③戸別受信機は、土砂災害警戒区域、要援護者など特定の世帯には無料で設置する予定。全戸設置はニーズに応えながら判断します。

④必要な情報をタイムリーに発信できる仕組みを検討します。

断し関係機関と連携してまいります。



冬季防災訓練の様子

本別町の防災・安全対策の再点検を

答 大停電発生時の対応を防災会議に諮り計画を見直します



藤田直美議員

重要な資機材の備蓄を防災会議に諮り見直しを行います。

②出前講座や避難訓練など防災活動の支援、組織率向上に努めます。



防犯カメラ設置について

答 関係機関等と協議し設置の有無を検討する



石山憲司議員

石山議員 本町における刑法犯認知件数は減少傾向にあります。3月以降不審者情報が多発しています。

①犯罪防止及び児童生徒が安心して通学できる環境整備として防犯カメラの設置について伺います。

②町民のプライバシーに対する不安解消について、カメラ及び画像の管理・運用を規定するガイドライン策定や警察との協定締結などで軽減できると考えるが。

③自治会、事業者、町民が設置を希望した場合、町として購入費の一部を助成することができるか否か。



設置されている防犯カメラ

梅村議員 町道調査をしたところ大きな傷みが目につきます。農村地域では土のう袋での穴埋めという応急処置が繰り返され、いつまでも舗装がされず、問い合わせをすると「予算、材料がない」との返答です。とにかく遅いし、何よりも経過や結果などの連絡がなく、「どうなつているのか」との不安や怒りが、あきれとあきらめに変わる。それ

高橋町長 ①防犯カメラは地域の防犯力向上という意味では有効な手段であると思います。関係機関と協議し設置の有無を検討します。

②住民の皆さんが情報としてわかるようにしておくことが大事だと思います。警察とも協議をし検討します。

③現段階ではまだそこまで至っていませんが、必要性について十分協議検討します。

着工にあたっては要請者や近隣住民にポスティング（投函）などで着工日や工事内容、

早くやってよ町道補修

答 予算や材料確保、連絡体制を検討し道路整備に努める



梅村智秀議員

責任者などの周知をし、町民の不満を解消するちょうど良い機会とすべきです。

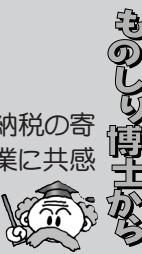
高橋町長 今年は気象条件含め非常に傷みが多く、皆さんの要望に応えることができず、時間がかかっていることも事実です。通報者、地域の方々にしっかりと連絡対応をします。



早くやってよ町道補修

ガバメントクラウド ファンディング(GCF)とは…

自治体が抱える問題解決のため、ふるさと納税の寄付金の使い道を、より具体的に示し、その事業に共感し、応援してくれる人から寄付を募る仕組みです。



梅村議員 不祥事以来、信頼回復に向けた具体的取り組み姿勢を持たれているのか、はつきりと見えません。町史始まって以来の不祥事ですから、具体的な取組みに移す姿勢が必要です。町長室を1階子ども未来課の位置に移し、庁舎を訪れる町民から視認性を良くする考えは。

高橋町長 決して取り組んでいないわけではありません。公務員倫理や服務規程の徹底など、私も先頭に立ちながらこれを遂行していくことが与えられた使命です。



美味しい返礼品のじゃがいも

高橋町長 ①返礼品については、当初から寄付の3割に設定し、また、町内原料を使用した対応をしており問題はありません。

②本事業を通じた「ふるさと応援団づくり」は大事と認識しています。また、事前に事業を限定して寄付を募る方式（ガバメントクラウドファンディング）を導入しながら実施するべく検討を進めています。

町長室を移動し信頼回復と安心を 答 現状での移動は難しい限りです



行政

梅村議員 福祉の町で暮らす高齢者が安心と安堵感に包まれ、見守られていると感じるための心配りをする体制が必要です。また、現在の防災体制の見直しも必要と考えます。

高橋町長 本町における65歳以上の実態は約8割が自分ことは自分でできますし、家庭訪問や電話連絡を行いながら注意喚起をしてきました。この災害で学んだ点を、今後の防災計画に取り入れます。

阿保議員 本町のふるさと納税はスタート年の平成18年、50件552万円の寄付額から平成29年度は3,247件、7,561万円と大きく前進してきました。



阿保静夫議員

①最近、国が指摘する「返礼品3割以内」については、本町では当初から取り組んでいると理解しますがどうか。②今後、まちづくりに関する事業名を明示して、本町のふるさと納税事業を進めるのは、「ふるさと応援団づくり」にも有効だと考えますが見解を伺います。

防災体制、町民のくらしといのちは守れない 答 この災害で学んだ点を、 防災計画に取り入れます

防災体制、町民のくらしといのちは守れない 答 この災害で学んだ点を、 防災計画に取り入れます

ふるさと納税、活用明示でより身近に 答 事業の明示をしながら 実施するべく検討を進めます

ふるさと納税、活用明示でより身近に 答 事業の明示をしながら 実施するべく検討を進めます

利用していない公共施設や遊休地の考え方は

答 具体的な活用は御意見を賜りながら取り組みます

大住議員 使用していない町有地も維持管理費が生じています。利用していない施設に費用を掛ける事を無くすべき

と思います。
①町が所有している施設の中で利用していない施設数はどうの様になつてているのか。

また、遊休地となつている町有地の面積はどの位になつていてるのか伺います。

②町有地の中で、まだ着手していない土地は、利用方法など町民の皆さんとお話しをするのも一考かと思いますが、考え方を伺います。

高橋町長 ①旧、子育て支援センター、美里別保育所、静山研修センター及び、ふるさと産業開発センターの4施設が使用されていません。遊休地は約29万3千平米です。建物の維持管理費が4施



閉ざされた静山研修センター

設で約39万円、南3丁目営林署跡の草刈費用が約70万円です。

②旧銀河線用地の利用方法については、隣接地の方などと協議を進めています。旧営林署苗畑跡地は、認定こども園以外の具体的な活用計画はありませんが、御意見を賜りながら取り組みます。

起業家等支援事業の継続的な支援について

答 内容あり方について具体的に検討見直しを図りたい



柏崎秀行議員

柏崎議員 ①起業家等支援で

採択となつた業者に対し、商工会と連携し、どのようなサポートを行なつてているのか。また、事業承継との関わりについて伺います。

②商品開発に関する、より多くの業者や団体等が本別の特産品を開発する環境を、さらに進める考えはないか。



若者が起業する銀河通り

高橋町長 ①支援を受けた事業者を対象に毎年成果発表会を開催し、起業家の方々相互の意見交換や交流、商工会への加入促進を図つてきましたので、今後も適切に支援していきたいと考えます。

また、今後の事業承継支援について、審査委員から意見が出されていますので、しつかりと議論していく必要があります。

②新商品の開発支援は、より多くの方々に活用され、商品開発の後押しができる制度として、限度額の見直しを関係機関の意見を聞きながら、内容、あり方について、具体的に検討し、見直しを図りたいと思います。



教 育

こども未来課と教育委員会の連携について

答 連携をとり、意見交換や研修会の合同開催を



水谷令子議員

水谷議員 ①道教委と道は「北海道児童教育振興基本方針」素案で、質の高い教育や幼児教育施設と小学校の連携・接続の強化をあげています。これまでの具体的な交流や今後の考え方を伺います。

②児童館、北地区交流センター、学童保育、教育委員会では、行事が同じ日に企画されていることが多くあります。

子どもたちが減少している中、連携をとり、行事を把握して、共に参加できる行事計画が必要だと思いますが、これからの方針を伺います。



目指せゴール！（義経の里スポーツフェスティバル）

合同給食、小学校子どもまつりへの招待、1日体験入学、勇足と仙美里は、保育所と小学校の合同運動会があります。

保育教諭と小学校の教職員の意見交換や合同の研修会と研究会の開催を計画します。

②各種機関連携して開催日程を調整しながら、合同開催や事業の統合を図り、子どもたちに学びの体験の場を提供してまいります。

高橋町長 ①年2回小学校教員の訪問や1年生と年長児の

本別高校支援のネットワークづくりを

答 各本別会など関係機関の協力を得ながら進めます

阿保議員

支援を広げるため、卒業生ネットワークづくりも

一つの方法。また、東京、札幌及び帯広の各本別会などの協力も得られるのです。

②町行事などへの中高生の協力を得ることも必要では。

佐々木教育長 ①実入学2間口確保のため、町内外に向けた取り組みが必要。帯広・札幌・東京本別会など協力を得ながら活動していきます。

②さらなる取り組みは、今後検討していきます。

農業・労働

天候不順と停電、農業支援は

答 農協と協議、国にも要請する

体制はとるべきと考える

阿保議員

①農作物は生育不良、町が利子補給の農業資金の償還猶予ができないか。

②停電対応で酪農家の発電機導入に、町として補助することも検討すべきでは。

高橋町長 ①国資金の償還猶

予は困難だと考えるが、農協と協議しながら取り組みを行いたい。

②関係機関全体で発電機の整備、配備、支援のあり方にについて調査検討を進めたい。

農大生から町内で新規就農者を 協議会設置をし、検討を進めて いくことにします

梅村議員 近年、農大生の傾向に変化が見られており、平成29年には道外出身者25%、非農家出身は37%強にまでなりました。平成30年3月町政執行方針では「農業大学校との情報交換や協議会設置などの検討を進める、新規就農者受入対策を含めた施策の推進を図る」と明示されています。

ところが、動いているのでしょうか、全然その姿が見えないです。生徒は入学して2年間で卒業するのですから、こうしたことはいち早く進めていく必要があります。

人口減が叫ばれる昨今、農大生など若者が新規就農者としてこの町に根をおろしていくれば、新しい何かが生まれるはずで、熱い想いの町内農業者との接点や、農大生や農大職員の心をつなぎとめる取り組みが必要です。



近年女性が急増（農大女子寮）

高橋町長 何も取り組んでいないということではあります。農大職員との意見交換と情報収集を予定し、生徒に対するPR方法や情報提供について検討を進めていきます。

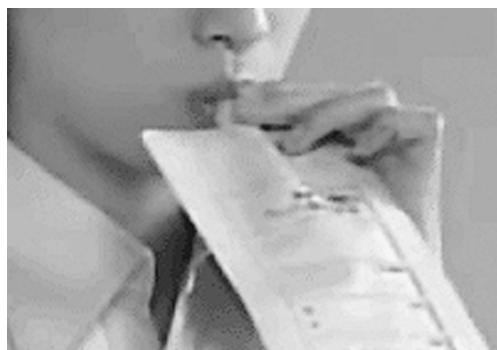
藤田議員 ピロリ菌は家族で共有している可能性が高く、ご家族への周知と実施を求めるます。道内実施市町村は平成27年7市町村でしたが、平成30年4月時点では56市町村が取り組んでいます。生涯を通して健康な胃で長生きを楽しむ、健康長寿のまちづくりを目指して取り組むべき。

①ピロリ菌検査に用いる薬の対象が15歳以上であることからも、検査は受験前の中学2・3年生が良いとされています。考え方を伺います。

②実施している市町村の多くは検査の費用を全額町負担としています。1次尿中抗体検査と2次の尿素呼気検査を全額町負担で実施すべきで

福社

中学生・高校生へのピロリ菌検査の実施を 答 中学生の除菌に対しては慎重になるべき



ピロリ菌、2次の尿素呼気検査

高橋町長 ①ピロリ菌の感染はほとんどが2歳未満であることから、予防として家族に対する感染対策が必要。中学生の除菌に対しては慎重になるべきとの意見も出ています。

②現在35歳以上を対象にしている検査年齢を引き下げて、若い世代に受診機会を広げるなどを検討していきます。

意見書

第3回定例会では5件の意見書が提出され、原案のとおり可決されました。可決された意見書は、衆議院議長、内閣総理大臣など関係機関へ送付しました。

【要旨掲載】

核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書

国際法史上初めて、核兵器を違法とした核兵器禁止条約が、国連会議で加盟国の約3分の2の122カ国の賛成で採択されました。

よって、唯一の被爆国である日本の政府は、核兵器禁止条約に早急に署名し批准されるよう強く求めます。

提出者 阿保 静夫



過疎地域における農業、商業、工業、林業者、地域医療機関が自家発電機を備え、大規模停電時に地域のライフラインとなり得るための経済支援を求める意見書

停電災害時、搾乳農家を初め、畜産業などの農業者、過疎地域の商業、工業、林業、医療機関などが自家発電機を備え、農村地域居住者や高齢者などに貢献し、住民同士の互助や孤立防止に寄与できるための支援を行なうよう強く要望する。

提出者 梅村 智秀



林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

森林整備から木林の利用促進の取り組みを支援するため、財源を十分かつ安定的に確保すること。また、森林づくりを担う林業事業体や人材の育成に必要な支援措置を充実、強化することを求めます。

提出者 黒山 久男



地方公務員法及び地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の待遇改善と雇用安定に関する意見書

臨時・非常勤職員の多くは、恒常的業務に就いており、地方行政の重要な担い手となっています。平成32年4月の法施行に向けて周知徹底、任用実態の調査、人材確保及び雇用の安定の観点から引き続き検討などを行なうことを求めます。

提出者 方川 一郎



日欧EPAの慎重な審議を求める意見書

日欧EPAは、秋の臨時国会で承認及び関連法案の審議がされる見込みです。

日欧EPAでは、豚肉、生乳、小麦生産など北海道は特に大きな影響を受けることが懸念されます。

国及び国会においては慎重な審議を強く求めます。

提出者 阿保 静夫



議員協議会の解説

議員協議会とは、法的な根拠はないが、通常、次のような場合に議長の招集で開かれる会議です。
 ①議員相互の意見を調整する場合
 ②執行機関（町長等）と議会側の意見の調整を図る場合
 ③議会自身の行事や運営や活動について協議する場合
 ④執行機関（町長等）の依頼により行政上の問題等について議会の意見を聞いたり説明を行なつたりする場合

議事や事業が円滑に進むよう事実上の意見調整、話し合いの場であり、本別町議会では録音・議事録作成（休憩中を除く）がされ、傍聴することも可能です。





全議員参加、人の波運動（10月26日）



全道議員広報研修会（8月22日）

写真で見る議員活動

第三回定例会において、
町長から行政報告がありま
した。(抜粋)

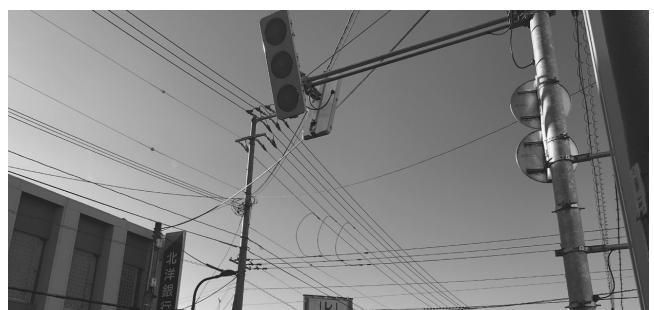
第3回 定例会

北海道胆振東部地震について

9月6日の地震発生とほぼ同時に町内全域が停電となつたことから、水道施設では、安定的な水の供給を

国保病院、老人ホームなど
入院・入所者のある施設に
ついては、安全確保はもと
より、水の確保や給食の調
理等、最低限の生活が送れ
るよう対応しました。

停電当日は、国保病院の外来診療が休診となりました。だが、電力復旧後には、速やかに診療を再開しました。また、小中学校も臨時休校となりましたが、翌日には、警察等の協力を得ながら、信号機が稼働していよいよ交差点に職員を配置し、登下校時の安全確保に努め、通



停電時、つかない信号機…

元職員の業務上横領に伴う弁済金の取扱いについて

今後は想定される災害として、非常時における住民生活への支援等に取り組んでまいりたいと考えます。

議長との対話室を行っています

開設日：平日

時 間：午前10時～正午

午後1時30分～午後4時

上記以外の曜日・時間帯でも、希望があれば相談に応じます。

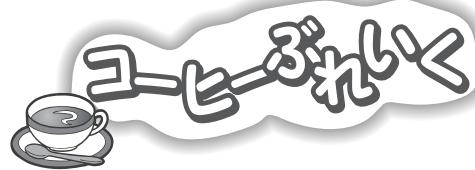
申し込み及び問い合わせ先：

議會事務局 22-8123

12月の定例会は 4日開会、11日一般質問を 予定しています

私たちの住む町の議会です
どなたでも自由に傍聴できます
あなたも傍聴してみませんか

新人議員に期待します



大勢の傍聴者のもと行なわれた9月定例会において、今回2回目の傍聴となる北1丁目の川口志映子さんと、初めて傍聴された北2丁目の駒澤陽子さん、南4丁目の井出英子さんの3人の方にお話を伺いました。今回の議会は、選挙後初めての一般質問ということで、自ら希望し傍聴されましたが、「生きた会話が聞けて良かった」「議場の雰囲気がよく、特に新人議員は初々しさもあり好印象だった」などの声や「議場への行き方がわかりづらい」「議場の音声が聞き取りづらかった」「日中働いてい

趣味の話題では、川口さんは整体ライ夫スクールで年に数回、埼玉、群馬、長野などを訪れる事、駒澤さんは温泉や海外旅行に行く話で盛り上りました。また井出さんは、最近周りに話で盛り上りました。しかし本別の良さを聞くことがあります。そこで、その中で何も知らない自分がいて、将来息子さんが本別に戻ってきたときに、まちの事を伝えることができるよう、勉強をしていきたいと語られました。

議会日誌

[8 月]

- 3日 新任議員研修
- 6日 新任議員研修
- 10日 第3回臨時会、広報広聴常任委員会
- 14日 議員協議会
- 17日 第4回臨時会、議員会総会、本別町林活議連臨時総会、総務常任委員会、産業厚生常任委員会、議会運営委員会
- 21日～22日 全道議会広報研修会（札幌市）
- 23日 十勝町村議會議長研修会（大樹町）
- 24日 池北三町行政事務組合議会（足寄町）
- 27日 総務常任委員会

[9 月]

- 6日 議長との対話室
- 7日 議会運営委員会、議員協議会、総務常任委員会、産業厚生常任委員会
- 11日 第3回定期会開会、議員協議会、議員会総会、総務常任委員会、本別町林活議連役員会
- 14日 議員会役員会
- 15日 議員会役員会
- 19日 本会議（一般質問）
- 20日 本会議（一般質問、議案審議）
- 21日 本会議（決算提案）
- 25日 議員協議会
- 26日 総務・産業厚生常任委員会決算審査勉強会
- 28日 各会計決算審査特別委員会

[10 月]

- 1日 各会計決算審査特別委員会
- 2日 各会計決算審査特別委員会
- 12日 広報広聴常任委員会、議会運営委員会
- 17日 産業厚生常任委員会所管事務調査
- 18日 総務常任委員会所管事務調査
- 25日 広報広聴常任委員会
- 26日 人の波運動

[11 月]

- 2日 広報広聴常任委員会
- 6日 十勝町村議會議員研修会（芽室町）



る人や若い人、議場へ足を運べない人のためにも、動画やSNSを発信して、議会を見てもらう環境づくりが必要では」などの貴重なご意見をいただきました。

今後の町づくりについては、「人口減少の中、どうしたら若い人が本別に住んでもらえるか、大いに議論をして欲しい」「幅広い年代が集まり話し合う場があれば良い」「意見が出たときには、できない理由を並べて欲しく」など熱く語っていました。

議員選挙後、新しいメンバーでの議会だより第87号の編集でした。期待されるのは、若い新議員の方々の視点です▼編集やレイアウト、議会活動をどのように伝えるかなどは常に課題です。町民の皆さんのが心事をわかりやすく伝え、より親しまれ、読んでいただきたいと思っています▼8月に札幌で開催された全道議会は、全員で参加しました。強調されたのは議会と住民のみなさんとのつながりを作る要(かなめ)は議会広報にあるといふことでした▼その役割を果たしていくたいと思っています。2年間、どうかよろしくお願いします。

委員長
副委員長
委員
梅村山西二三夫智秀
藤田柏崎直美秀行
阿保静夫

議会日誌